

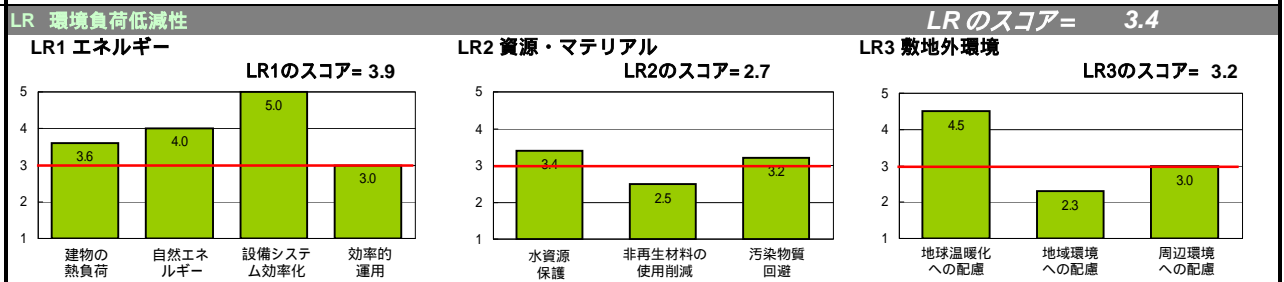
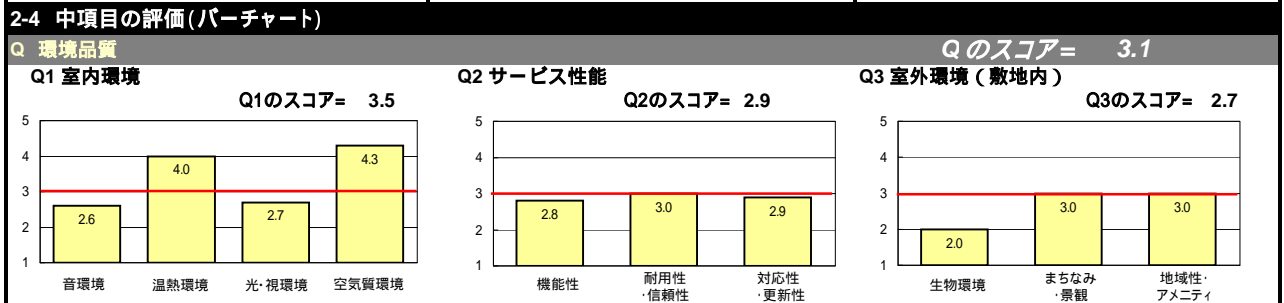
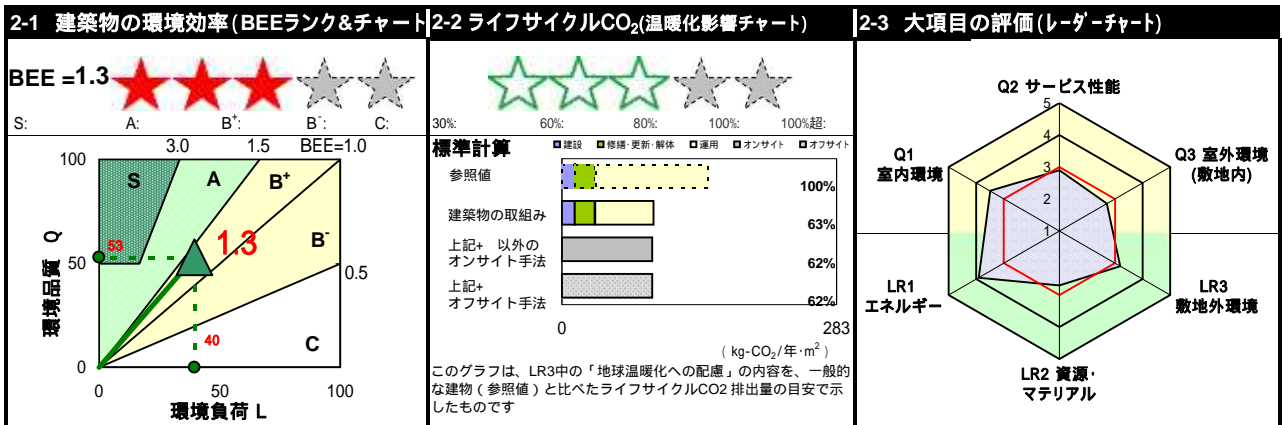
CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームあじさい	階数	地上5F
建設地	相模原市中央区横山台1丁目132番	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	140 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年1月 予定	評価の実施日	2010年10月7日
敷地面積	3,653 m ²	作成者	(有)建築環境計画
建築面積	1,773 m ²	確認日	2010年10月7日
延床面積	6,678 m ²	確認者	(有)建築環境計画

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
建物周囲にたいしては、可能な限り緑化に努め、雨水を宅内処理とした。	0	
Q1 室内環境 ペアガラス及び断熱材による、高い断熱性の確保。調湿空調の設置による、快適性の確保。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースとして、談話コーナーを外壁面に設置した。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地等適度に確保した。
LR1 エネルギー 自然採光や通風に配慮し窓等の設置を計画した。また空調や照明は、各ゾーンにおいての制御が出来る様にした。	LR2 資源・マテリアル 内装材等についてはシックハウス法はもとより十分注意を払った。上水の節水型機器の採用。	LR3 敷地外環境 地盤面に可能な限り緑化に努めた。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい